

# 今後の内外経済・市場動向をどうみるか

みずほ証券チーフマーケットエコノミスト 上野泰也

- \*株高イコール景気回復ではない
- \*景気の牽引役が見当たらない
- \*賃金抑制続き個人消費も低調に
- \*日銀は金融緩和政策を止められない
- \*次の追加緩和が10月になる理由
- \*米国の利上げは12月にズレ込む
- \*下振れリスクがある中国経済
- \*今の日本は15年前と同じムード
- \*気になるECBの緩和策停止時期
- \*安倍政権の政策優先順位は変わらないか



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）  
今日は久しぶりに、みずほ証券の上野さんに来ていただきました。ここはいろいろな立場の人をお招きしておりますが、今の金融政策、経済政策については上野さんはどちらかと言うと批判的な方でいらっしゃるのです、現在の日本の経済及び政策の抱えているいろいろな問題について、お話しいただけると思います。  
それでは上野さん、よろしくお願いいたします。（拍手）

**上野** みずほ証券の上野でございます。  
今ご紹介いただきましたように、私は以前の倶楽部さんにお招きいただいたときから見方は変えておりませんし、現在の経済政策、なかなか金融政策については批判的な論陣を張っ

ております。それから、昨日、日経平均が終値2万円を超えて、さらに上がった。今日は下がっておりますけれども、この株高についても、一部新聞等でクォートしていただきましたが、私はバブルの色彩がかなり強くなってきたのではないかと考えております。

## 株高イコール景気回復ではない

まず、本論に入る前に最近の経済の一つの特徴として、景気回復の実感がないという声の特徴として、景気回復の実感がないという声があるいは、株価が上がっても、これは関係ないよという声、私が地方に出張したときによく耳にします。それで、景気ウオッチャー調査の最新の3月調査の中にタクシーの運転手のコメントがいくつか